

## 必要病床数の推計値等について

# 必要病床数の推計(道の推計値)

## 1. 医療需要

医療機能	2013年度の 医療需要 (人/日)	②	①	③
		(医療機関所在地) 2025年度の 医療需要 (人/日)	(患者所在地) 2025年度の 医療需要 (人/日)	(調整後の推計) 2025年度の 医療需要 (人/日)
高度急性期	13	13	31	13
急性期	73	78	121	78
回復期	91	102	137	137
慢性期(パターンA)	366	86	77	77
慢性期(パターンB)	366	157	145	145
慢性期(パターンC)	366	247	232	232
合計(パターンA)	542	278	366	305
合計(パターンB)	542	350	433	373
合計(パターンC)	542	439	521	*1 460

【病床利用率】

高度急性期～75%、急性期～78%、回復期～90%、慢性期～92%

## 2. 必要病床数

医療機能	2013年度の 必要病床数 (床)	②	①	③
		(医療機関所在地) 2025年度の 必要病床数 (床)	(患者所在地) 2025年度の 必要病床数 (床)	(調整後の推計) 2025年度の 必要病床数 (床)
高度急性期	17	17	41	17
急性期	94	100	155	100
回復期	101	113	152	152
慢性期(パターンA)	397	93	84	84
慢性期(パターンB)	397	171	157	157
慢性期(パターンC)	397	268	252	252
合計(パターンA)	609	323	432	356
合計(パターンB)	609	401	505	426
合計(パターンC)	609	498	601	522

## ※ 推計の妥当性

石川ベンジャミン光一先生資料公開サイト H23患者調査—入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計

北空知圏 1日入院患者数(人) 2015年 : 約540人 2025年 : **約520人** と推計。

日医総研ワーキングペーパー No.323 地域の医療提供体制の現状と将来(2014年度版)

図表1-8-7 北空知医療圏の推計患者数(ICD大分類)

(2011年患者調査に基づき、5疾病並びにICD大分類の入院・外来の年齢構成別受療率に当該医療圏の年齢構成別人口(2011年・2025年)を乗じて算出。)

\* 2025年の入院患者総数は、**566人** と推計。

上記の「道の推計値」における調整後の医療需要(\*1)では、**460人**となっている。

石川先生及び日医総研の推計は、患者調査に基づくことから「患者所在地ベース」の値であるため、「道の推計値」同様の調整後(急性期等の流入を考慮)に整理すると

石川先生の推計 入院 約520人 - 61人(高:31-13 急:121-78) = **約460人** 「道の推計値」と類似  
日医総研の推計 入院 566人 - 61人(高:31-13 急:121-78) = **505人**

日医総研の推計の「道の推計値」(\*1)との差は、**45人分**

(「道の推計値」は2013年のレセプトデータが基のため介護療養病床の入院患者は含まれていない)

北空知圏域には、国で在り方を検討している介護療養病床が **55床** あることから、その分を考慮すると日医総研の入院推計患者数に対しても「道の推計値」での対応が可能と推測される。

\* なお、介護療養病床の在り方は、現在、国において検討中であり、その動向によって整理が影響を受けるもの。